

「歯科におけるタバコの害」

喫煙と歯周病の関係について、喫煙者は非喫煙者に比べて歯周病などにかかりやすく、悪化しやすいことが分かっています。

喫煙による口腔内への影響

1. 口内・喉(咽頭)の癌の発生が通常の3倍
2. 歯ぐきの病気(歯周病)の罹りやすさ・重症化が通常の5～7倍
3. 口臭の原因の一つ
4. 味が感じにくくなる(味覚の鈍化)



歯周病を悪化させる危険因子

歯周病に注目すると、①タバコ(喫煙)、②ストレス、③多量の飲酒、④全身の病気(糖尿病など)、⑤咬み合わせが悪い、⑥歯の形・歯並びが悪い、⑦口内の衛生状態が悪い、⑧口で呼吸していることが多い、ことなどが原因とされています。

特にタバコ(喫煙)が歯周病の最大の危険因子で、そのメカニズムはタバコのニコチンの血管を収縮する働きで歯肉に十分な栄養・酸素が行かなくなるため、免疫力も低下して炎症が起こりやすくなり、炎症が起きても出血しにくくなり気がつかないうちに病状が進行してしまいます。また、タバコのヤニが沈着して清掃しにくくなることで歯周病になりやすくなります。

お口をはじめとした体の健康のためにも、禁煙の検討をお勧めします。

(文責：富山歯科医院 富山雅則)

お問い合わせ先

福島町健康づくり推進協議会(福祉課内) ☎47-4682

無料開放!



吉岡温泉だより

6月温泉の日は **27日(火)**

温泉で心も体もリフレッシュ!
温泉の日は、ちょっと得した気分
家族みんなで温泉へ出かけましょう!